

小山崎遺跡は山形県の北、遊佐町吹浦字七曲にあります。牛渡川の右岸にある丘陵や、その周辺に広がる湧き水が豊富な低地に位置しています。海岸まで直線で約1.5kmあります。範囲は東西300m、南北150m以上におよぶと推測され、面積は約5万㎡となります。北側は鳥海山に連なる山裾が弓状に迫っています。隣接する箕輪鮭人工孵化場の北には、湧水によりできた「丸池」があり、昔から厚く信仰されてきました。池および周辺は遊佐町の天然記念物に指定され、原生林となっています。山形県教育委員会では、1998年から5カ年計画で、小山崎遺跡の重要遺跡確認調査を、おこなってきました。今年度に現地調査を終え、縄文時代早期末約6,500年前から晩期前葉約2,700年前にわたる、約3,800年間に営まれてきた貴重な文化遺産が明らかとなりました。これまでの調査面積は約3,400㎡となり、出土品は縄文土器や石器など、整理用コンテナで約350箱を数えます。遺跡では石で組まれた水場の遺構やヤマトシジミの貝塚が見つかりました。出土品には頭骨や下顎などの人骨、漆塗りの土瓶や糸玉、釣り針などの骨角器、さまざまな動物遺骸など、これまでにない貴重なものがあります。



企画展

# 小山崎遺跡

## 発掘調査速報展

2002年  
9月28日 ▶ 11月17日

小山崎遺跡

山形県立博物館

# 狩



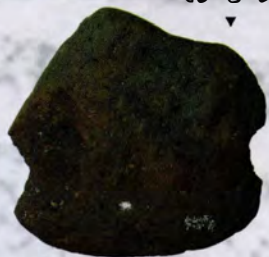
石ぞく



釣り針



おもり



〈種子〉



クリ



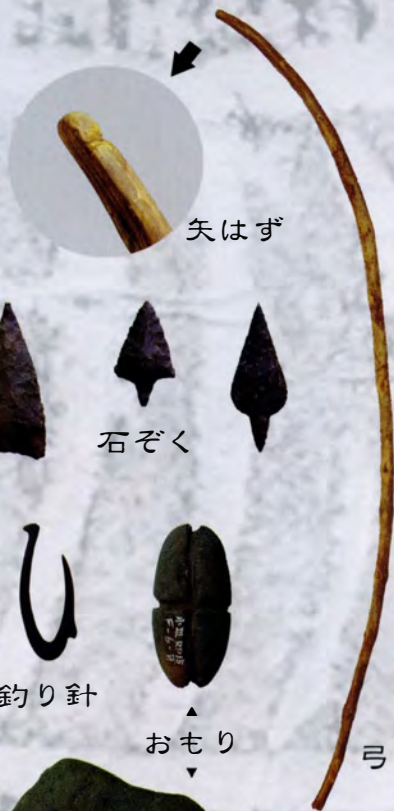
クルミ



トチノキ



すり石と石皿



矢はず

弓

# 漁



# 採



# 作



石きり



編物痕のある土器の底



吊り手型土器

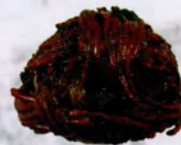


棒状木製品

# 漆



漆塗り系玉

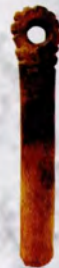


漆塗り土瓶 (注口土器)

# 装



耳飾り



髪飾り?



玉



漆塗り製品?

# 祈



岩偶



土偶

